

PTA総会 校長挨拶

こんにちは。校長の大倉です。本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先ほど、ベネッセの長さんによる進路講演もありましたが、学校の方からも様々な情報や学校での生徒の様子などを逐次HPに上げておりますので、お時間があるときにご覧いただければと思います。私からも各式での式辞や全校朝礼での講話、校長通信などを全て載せております。学校が今どのような方向性で生徒に接しているのかがわかると思いますので、ご覧いただけるとう幸いに存じます。

さて、今年度は四十五名の新入生を迎え、総勢百三十一名の生徒と、九名の転入職員を含めた三十一名の常勤の職員でスタートしております。

そのスタートから一ヶ月が経ちました。新入生はまだ慣れない部分も当然あると思いますが、学校全体としては、生徒会を中心に落ち着いた学校生活を送ろうとしている様子が伺えます。それは小中学校・地域、そして何よりも家庭でのしつけがあったからだと思います。どうぞこれから家庭と学校でいい連携がとれればと考えています。

昨年の年度当初には、ノーヘルメットでの単車の運転の情報が寄せられ、早急に生徒には指導したところですが、それ以降は大きな事故・違反は起こっておりません。しかし、小さな自損事故等は起きておりますので、制限速度や一時停止など交通ルールの遵守はもろんのことですが、見通しの悪い路地やタイヤがスリップしやすい路面など、想像力を働かせた危険予知についてはご家庭においても話題にしていきたい、自分の命はもろん、周りの人に対する人命尊重の精神を養ってもらいたいと思います。

本校では今年度も引き続き、単元シラバスに基づく、学習指導と学習評価の改善に取り組んでいます。今年度からは学習内容の更なる定着を図るために「レビニューウィーク」を設けました。日常の学習を各自で振り返り、定着度の低い単元を補強したり、得意分野を更に伸ばしたりと、個々に必要な課題を自ら設定し取り組む週間です。生徒にはその趣旨をしっかりと理解させ、主体的な学習習慣の確立を図ります。ご家庭においても御協力をお願いいたします。

始業式で私は生徒たちに二つのことを心がけてほしいと伝えました。

一つは、「脳に汗をかけ」ということです。体を動かかせば汗が出てくるように、脳に思いつきり汗をかかすくらい、脳がクツクツになるくらい、じつくりと考える時間を高校生のうちにとってほしいということです。それがあって初めて、思考力・判断力・表現力・主体性に対するスタミナがつくのだけということです。

二つ目は、「自分のルーツに誇りを持って」ということです。与論だからできること、与論でしかできないことを探究活動などで深掘りすることが、上級学校へ進学する際の大きなアピールポイントになることを認識し、自分の存在価値を高めていくという発想を持ってほしいということです。実際、このおかげで総合型入試や推薦入試を利用して進学した生徒がこの3月にも多数おりました。そういう意味で与論で高校生活を送ることに対して自信と誇りを持ってほしいのです。十八歳まで地元の与論に太い根っこを張り巡らした上で、卒業後は島外で大きく羽ばたき、将来は何らかの形で、地元の振興に貢献できる人材に成長することを期待しています。

四月に放送されたMBCの「どーんとかごしま」で、甑島に住む女子中学生が高校進学と同時に島を離れる様子が特集されました。高校がない甑島では、進学を希望する生徒は皆、十五歳で「島だち」を迎えます。彼女は「島に高校があればいいのには思うけど、十五歳で島を離れて新しい環境でチャレンジすることも自分の成長のためには良いこと」なのだと健気に語っていました。が、「島だち」前後の親子の表情や言葉からは、双方にきつと複雑な気持ちが入り交じっているのだろうと推察できて、私も思わずもらい泣きしてしまいました。そう考えると、与論には本校があつて幸せだなと改めて思うのです。思春期も過ぎ、自分の将来のことも真剣に考え出し、親とも大人としての会話ができるようになり、しなやかな感受性が育まれる高校時代を地元で過ごし、郷土愛を育むことは学力を付けること以上に大事なことだと思います。このような人材こそが与論島の未来を担ってくれると思うからです。

本校には島外からも入学できる与論町の「ふるさと留学制度」があります。与論町教育委員会及び本校のHPで情報を発信しておりますが、鹿児島本土にお住まいの親戚やお知り合いの方の中で、本制度を利用して本校でお子様が高校生活を送ることに興味がある方がおられましたら、是非お

勧めただければと思います。今年度も一名島外から入学してくれました。今後、生徒数の減少が続きます。与論高校はもちろんですが、与論島自体が永続的に持続発展していくために、この素晴らしい環境で高校生活を送れる生徒が途切れないように、学校全体で努力を続けていきたいと思っております。保護者の皆様にも御理解と御協力をいただきながら、学校と保護者、地域が一体となって、未来ある若者を育てていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題がスムーズに進行しますよう御協力お願いいたします。以上で挨拶いたします。